

コミュニティバス乗降・ヒアリング調査結果について

資料 4

平成30年度に実施したコミュニティバスの乗降調査及びヒアリング調査の概要は以下のとおりです。

1 調査の目的

- 平日

現在の運行に係る利用状況を把握・分析し、今後の改善に向けた基礎資料とする。
- 休日

休日運行時*の利用者の動向を把握・分析することで、コミュニティバスの休日運行検討に向けた基礎資料とする。

※平日だけではなく休日に運行してほしい旨の要望があることから、今後の導入可能性を検討するために、西区、岩槻区において試験的に休日運行を実施

2 対象路線と調査日

▲：乗降調査、■：ヒアリング調査

		第1回	第2回
平日	対象路線	岩槻区・見沼区・西区	桜区・南区・北区
	調査日 (2日間)	11月6日（火）▲■ 8日（木）▲ 1月29日（火）▲※1 見沼区のみ	12月11日（火）▲ 13日（木）▲■
休日	対象路線	西区	岩槻区
	調査日 (4日間)	1月 19日（土）▲■ 20日（日）▲■ 26日（土）▲■ 27日（日）▲■	2月16日（土）▲■ 17日（日）▲■ 3月2日（土）▲■ イベント有※2 3日（日）▲■

※1 1月29日（火）の調査については、11月6日（火）の見沼区乗降調査時に周辺道路で事故が起きた影響で、一部の便のデータが取得できなかったことから、改めて設定したものです。
※2 2月23日～3月10日の期間中、岩槻駅東口周辺商店街にてイベント「まちかど雛めぐり」が開催されました。

3 調査対象者

対象路線・調査日の利用者全員

4 調査内容と調査方法

乗降調査	調査内容	各利用者について、乗車・降車停留所をカウントする
	調査方法	調査員が1名乗車し、目視により実施
ヒアリング調査	調査内容	各利用者について、個人属性、利用頻度、利用目的等をヒアリングする
	調査方法	調査員が1名乗車し、乗客に声をかけて実施

5 周知

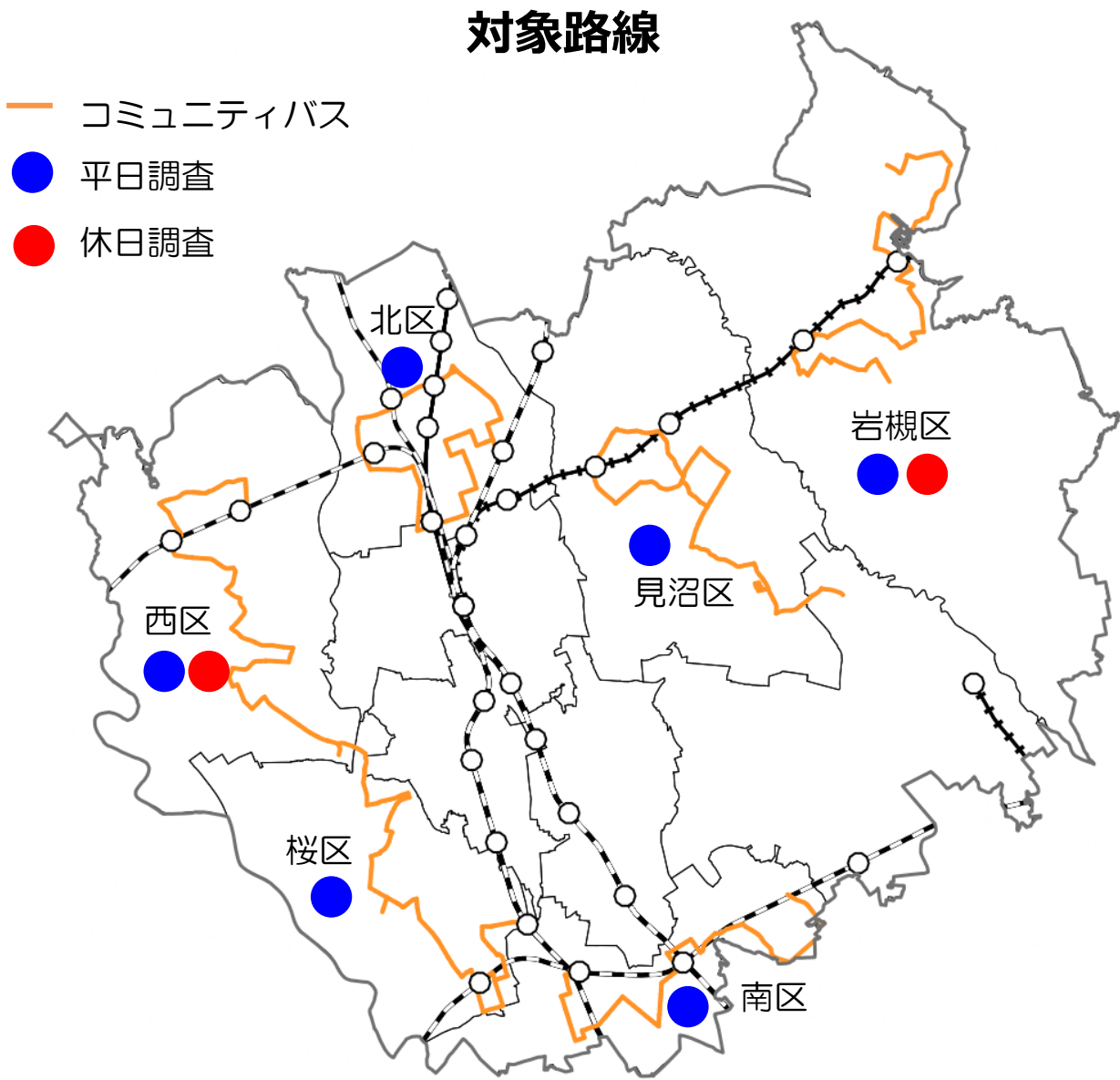
- 平日

- 各停留所への掲示
- 休日

- チラシ・ポスター（西区、岩槻区内の各公共施設等に配置）
 - 区報
 - 市ホームページ、SNS
 - 自治会回覧
 - コミュニティバス車内、停留所への掲示
 - まちかど雛めぐりチラシへの掲載（岩槻区のみ）

6 実施主体

さいたま市からの委託により、一般財団法人計量計画研究所が実施

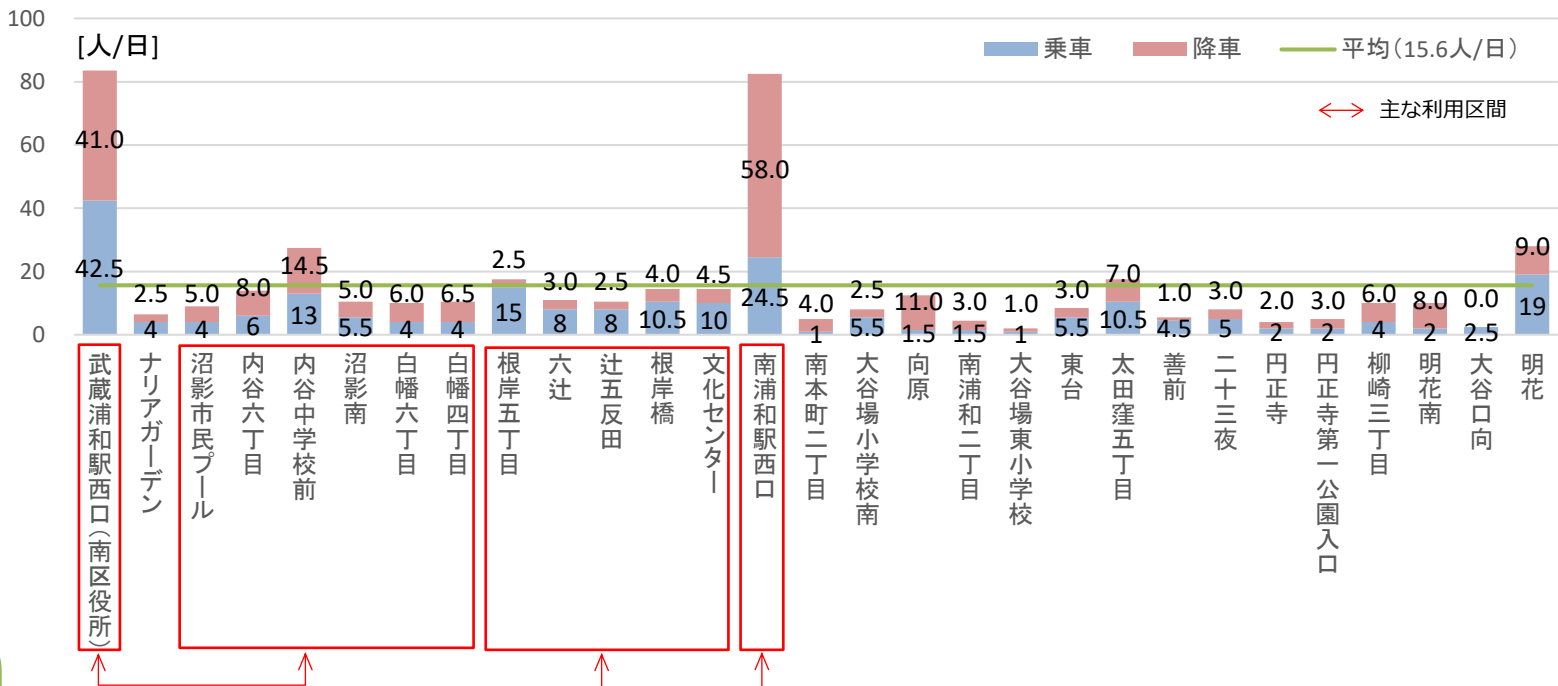


コミュニティバス乗降・ヒアリング調査結果について【平日の調査結果】

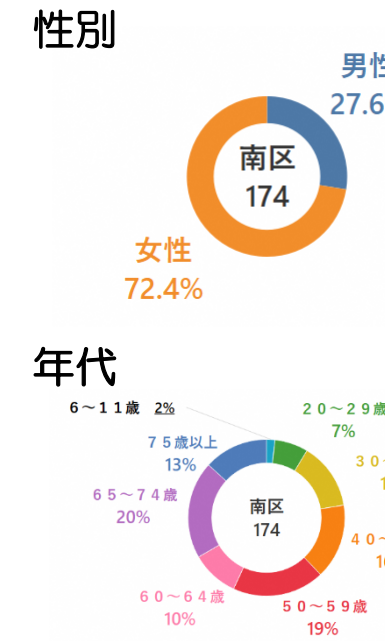
南区

- 1日当たりバス停別乗降者数は、武蔵浦和駅西口（南区役所）、南浦和駅西口、明花、内谷中学校前、根岸五丁目、太田窪五丁目で、特に多い（上位5位以内）。
- 利用者の要望として、「本数増加」「休日運行」が多い。
- 利用目的として、勤め先が約3割を占めており、その次に南浦和駅、南区役所が多い。

乗降調査結果（乗降者数合計227人／日） ※データ取得日：H30.12.11,13



ヒアリング調査結果



コミュニティバスの利用目的

上位	目的	回答数
1	勤め先	31.6%
2	南浦和駅	24.1%
3	南区役所	13.8%
3	武蔵浦和駅	13.8%
5	病院	10.3%

(n=174)

コミュニティバスに関する利用者の要望

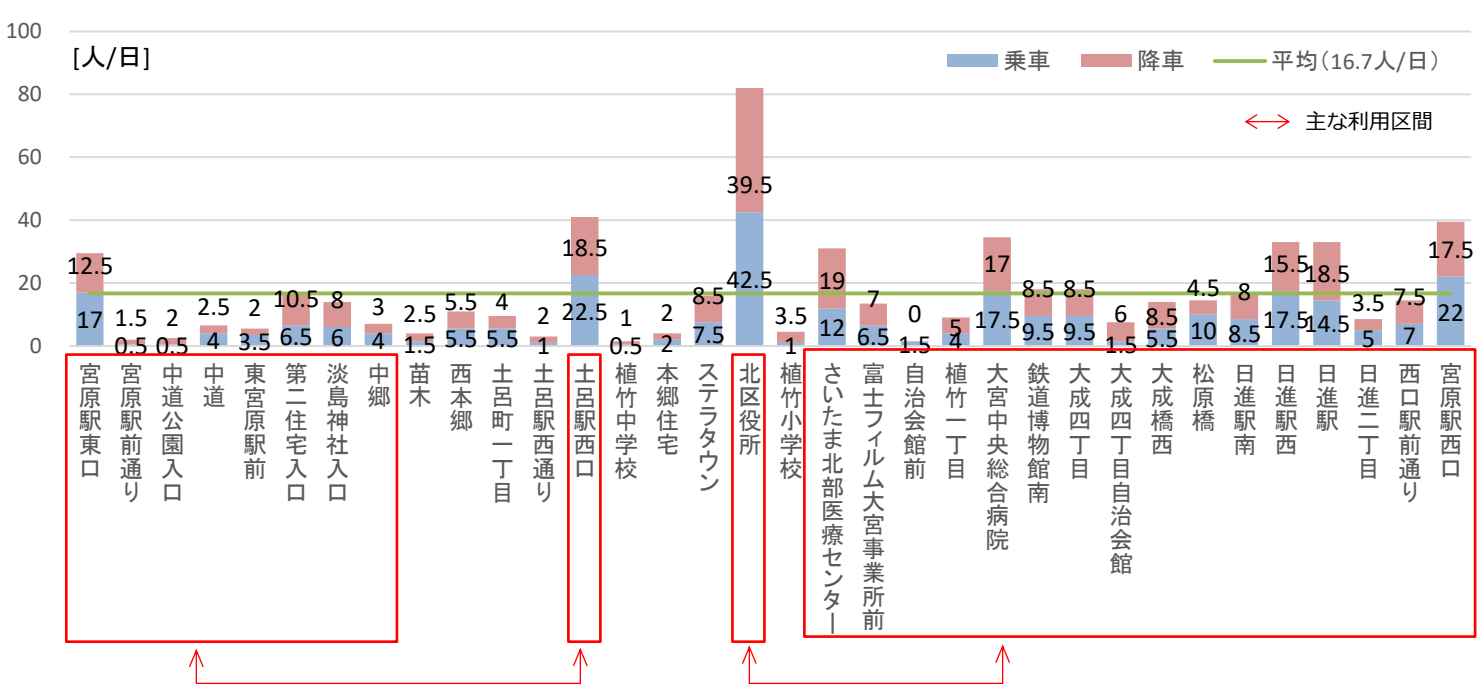
上位	要望	回答数
1	本数増加	14.9%
2	土曜運行	7.5%
2	日曜運行	7.5%

(n=174)

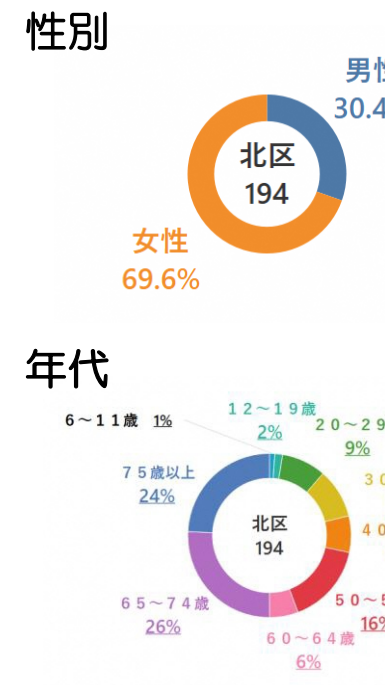
北区

- 1日当たりバス停別乗降者数は、北区役所、土呂駅西口、宮原駅西口、大宮中央総合病院、日進駅、日進駅西で、特に多い（上位5位以内）。
- 利用者の要望として、「本数増加」「土曜運行」が多い。一方、特に要望が無い利用者も同様に多い。
- 利用目的として、北区役所が約2割を占めており、その次に北部医療センター、勤め先が多い。

乗降調査結果（乗降者数合計283.5人／日） ※データ取得日：H30.12.11,13



ヒアリング調査結果



コミュニティバスの利用目的

上位	目的	回答数
1	北区役所	21.1%
2	北部医療センター	17.0%
3	勤め先	16.0%
4	土呂駅	13.4%
5	大宮中央総合病院	9.3%

(n=194)

コミュニティバスに関する利用者の要望

上位	要望	回答数
1	本数増加	24.1%
2	特になし	21.8%
3	土日運行	20.1%

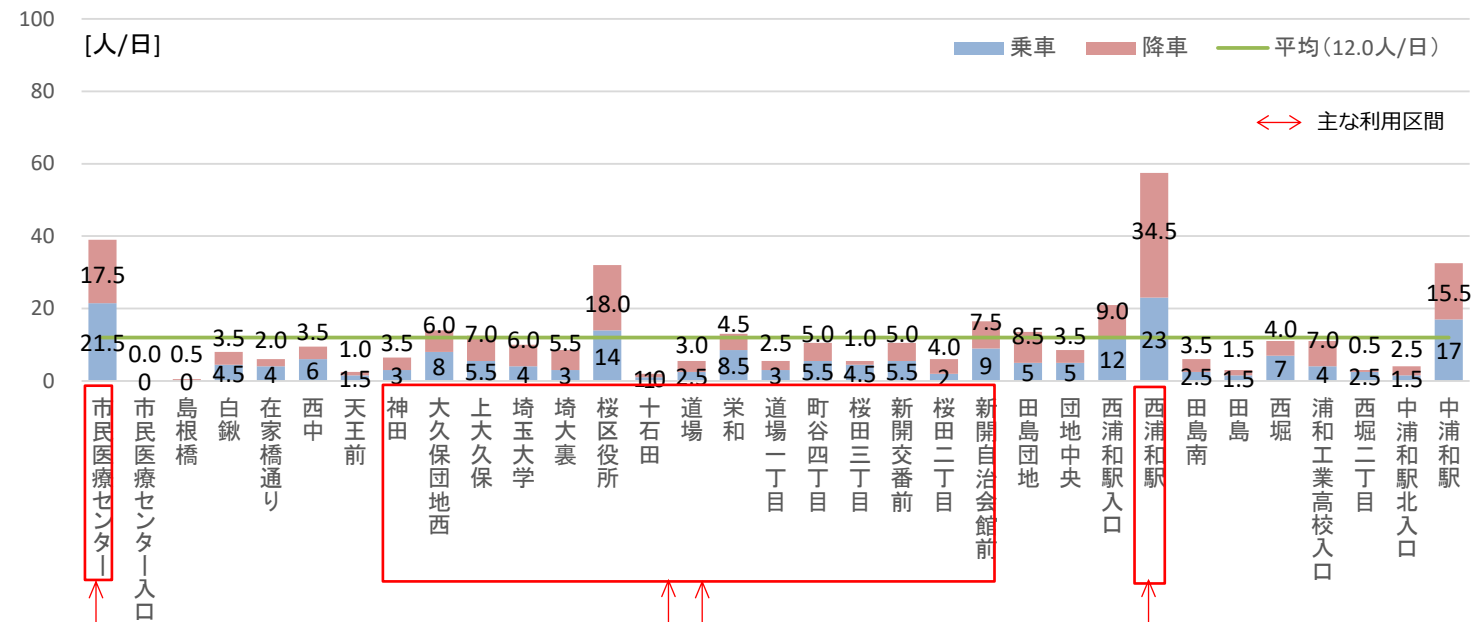
(n=194)

コミュニティバス乗降・ヒアリング調査結果について【平日の調査結果】

桜区

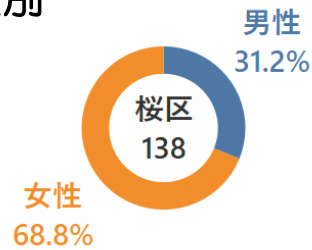
- 1日当たりバス停別乗降者数は、西浦和駅、市民医療センター、中浦和駅、桜区役所、西浦和駅入口で、特に多い（上位5位以内）。
- 利用者の要望として、「本数増加」「土曜運行」が多い。一方、特に要望が無い利用者も同様に多い。
- 利用目的として、勤め先が約2割以上を占めており、その次に西浦和駅、市民医療センターが多い。

乗降調査結果（乗降者数合計198人／日）※データ取得日：H30.12.11,13

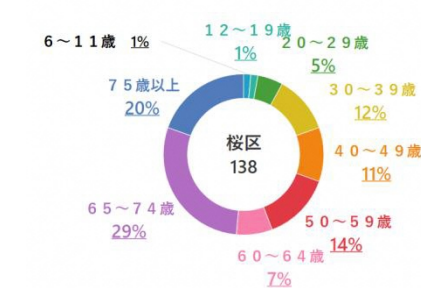


ヒアリング調査結果

性別



年代



コミュニティバスの利用目的

上位	目的	回答数
1	勤め先	26.1%
2	西浦和駅	18.8%
3	市民医療センター	15.9%
4	桜区役所	13.8%
5	親戚・知人の家	11.6%

(n=138)

コミュニティバスに関する利用者の要望

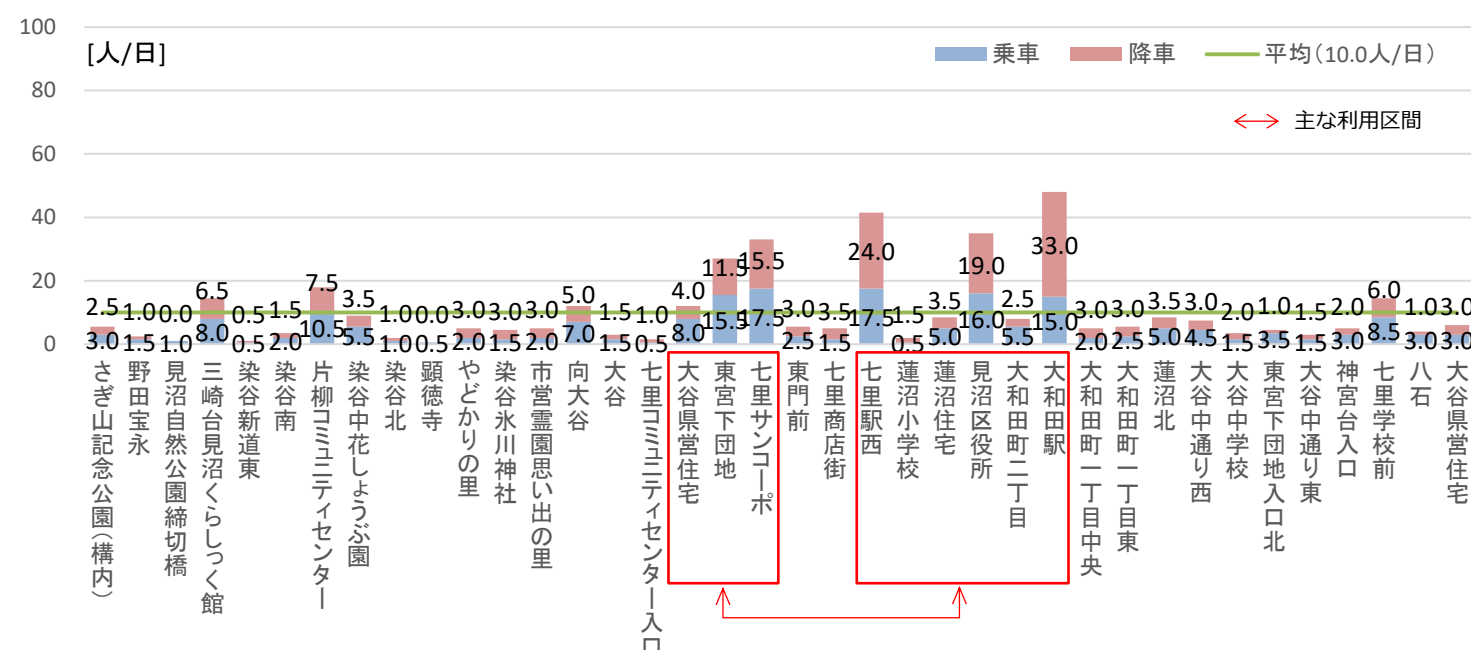
上位	要望	回答数
1	本数増加	24.6%
2	土曜運行	13.8%
3	特になし	13.8%

(n=138)

見沼区

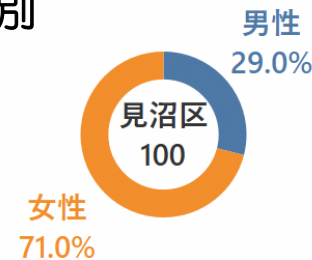
- 1日当たりバス停別乗降者数は、大和田駅、七里駅西、見沼区役所、七里サンコーポ、東宮下団地で、特に多い（上位5位以内）。
- 利用者の要望として、「本数増加」「休日運行」が多い。
- 利用目的として、勤め先と大和田駅で約4割以上を占めており、その次に七里駅が多い。

乗降調査結果（乗降者数合計191人／日）※データ取得日：H30.12.11,13



ヒアリング調査結果

性別



年代



コミュニティバスの利用目的

上位	目的	回答数
1	勤め先	22.0%
1	大和田駅	22.0%
3	七里駅	12.0%
4	見沼区役所	11.0%
5	大宮共立病院	9.0%

(n=100)

コミュニティバスに関する利用者の要望

上位	要望	回答数
1	本数増加	13.0%
2	土日運行	11.0%
3	日曜運行	9.0%

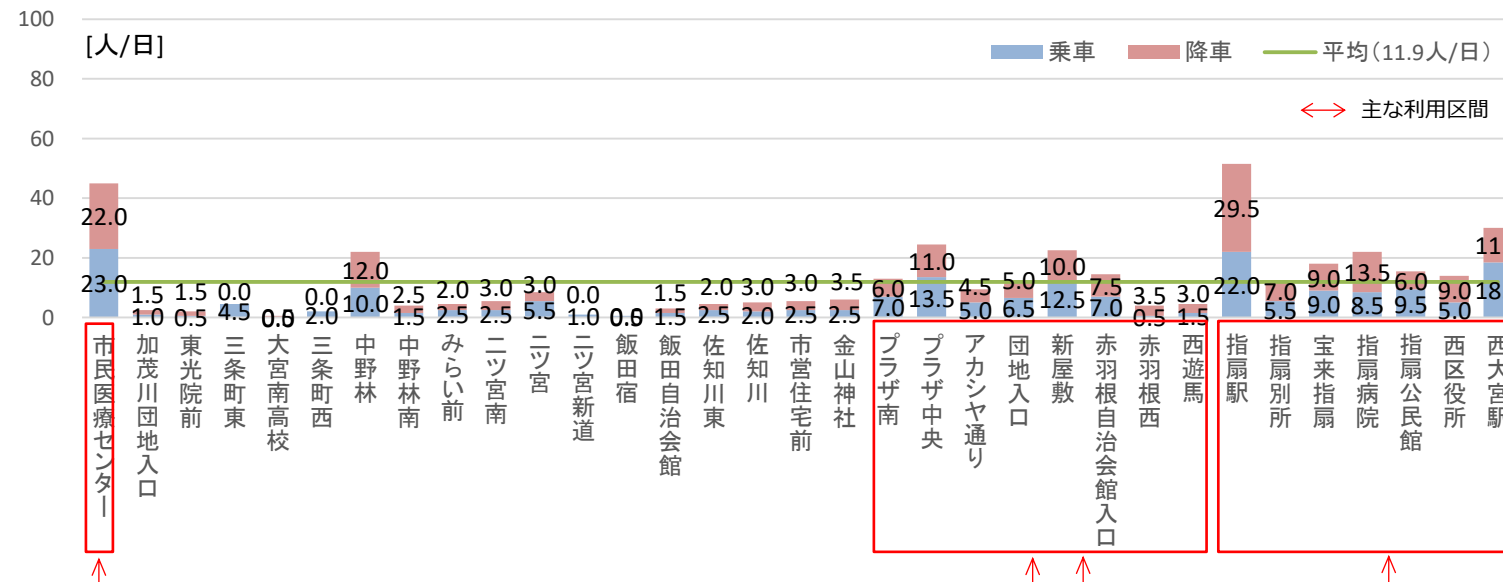
(n=100)

コミュニティバス乗降・ヒアリング調査結果について【平日の調査結果】

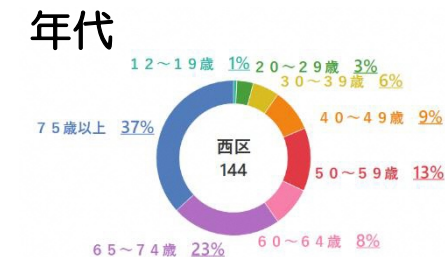
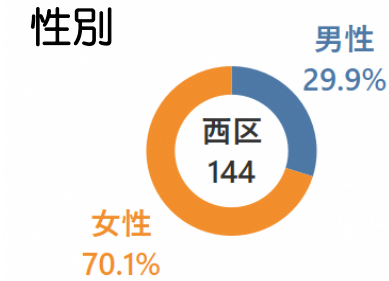
西区

- 1日当たりバス停別乗降者数は、指扇駅、市民医療センター、西大宮駅、プラザ中央、新屋敷で、特に多い（上位5位以内）。
- 利用者の要望として、「本数増加」「土曜運行」が多い。一方、特に要望が無い利用者も同様に多い。
- 利用目的として、勤め先が約2割以上を占めており、その次に指扇駅、市民医療センターが多い。

乗降調査結果（乗降者数合計197人／日） ※データ取得日：H30.11.6,8



ヒアリング調査結果



コミュニティバスの利用目的

上位	目的	回答数
1	勤め先	20.8%
2	指扇駅	19.4%
3	市民医療センター	18.8%
4	西大宮駅	14.6%
5	指扇病院	13.2%

(n=144)

コミュニティバスに関する利用者の要望

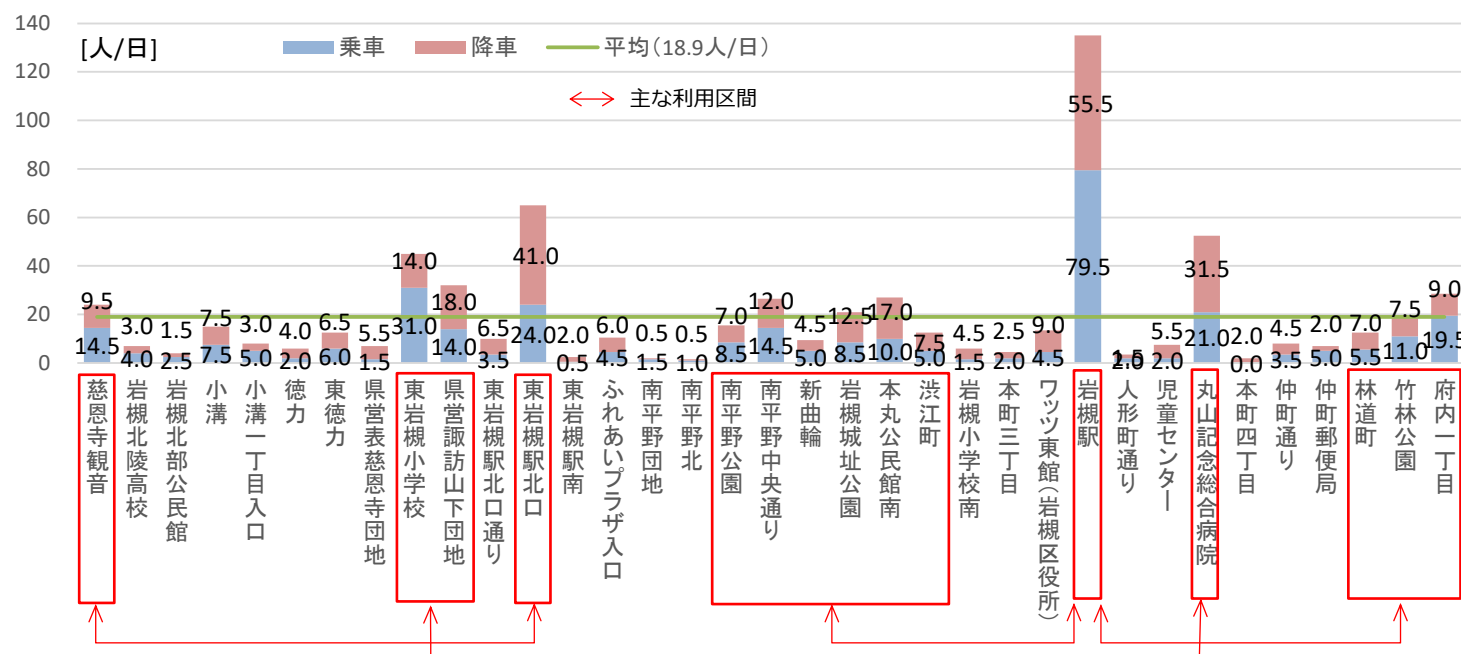
上位	要望	回答数
1	本数増加	19.4%
2	特になし	10.4%
3	土曜運行	4.2%

(n=144)

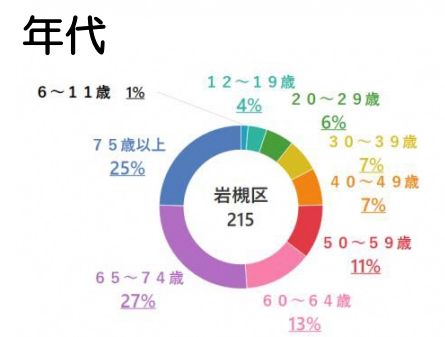
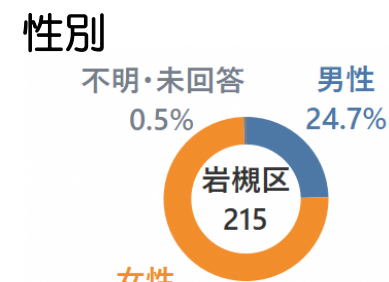
岩槻区

- 1日当たりバス停別乗降者数は、岩槻駅、東岩槻駅北口、丸山記念総合病院、東岩槻小学校、県営諏訪山下団地が上位5位以内に入る。
- 利用者の要望として、「本数増加」「土曜運行」が多い。一方、特に要望が無い利用者も同様に多い。
- 利用目的として、岩槻駅が約3割を占めており、その次に丸山記念総合病院、勤め先が多い。

乗降調査結果（乗降者数合計332人／日） ※データ取得日：H30.11.6,8



ヒアリング調査結果



コミュニティバスの利用目的

上位	目的	回答数
1	岩槻駅	28.8%
2	丸山記念総合病院	18.6%
3	勤め先	15.3%
4	東岩槻駅	9.3%
5	商業施設・商店街	5.6%

(n=215)

コミュニティバスに関する利用者の要望

上位	要望	回答数
1	本数増加	19.5%
2	特になし	17.7%
3	土曜運行	16.3%

(n=215)

コミュニティバス乗降・ヒアリング調査結果について

平日運行のまとめ

【全区共通の特徴】

- 駅、区役所や病院での乗降が多い。
- 利用者の目的については、駅周辺、通勤、区役所や病院が上位を占める。
- 利用者の要望については、「休日運行」と「本数増加」が上位を占める。
- 利用者については、約7割が女性であり、年代については、60歳以上が概ね半分以上を占める。

＊今回の調査では、各区2日間の停留所ごとの利用者の人数、利用区間、目的や要望等のデータを収集することができた。

＊今後のルート変更や目的施設等の検討の際に活用していく。

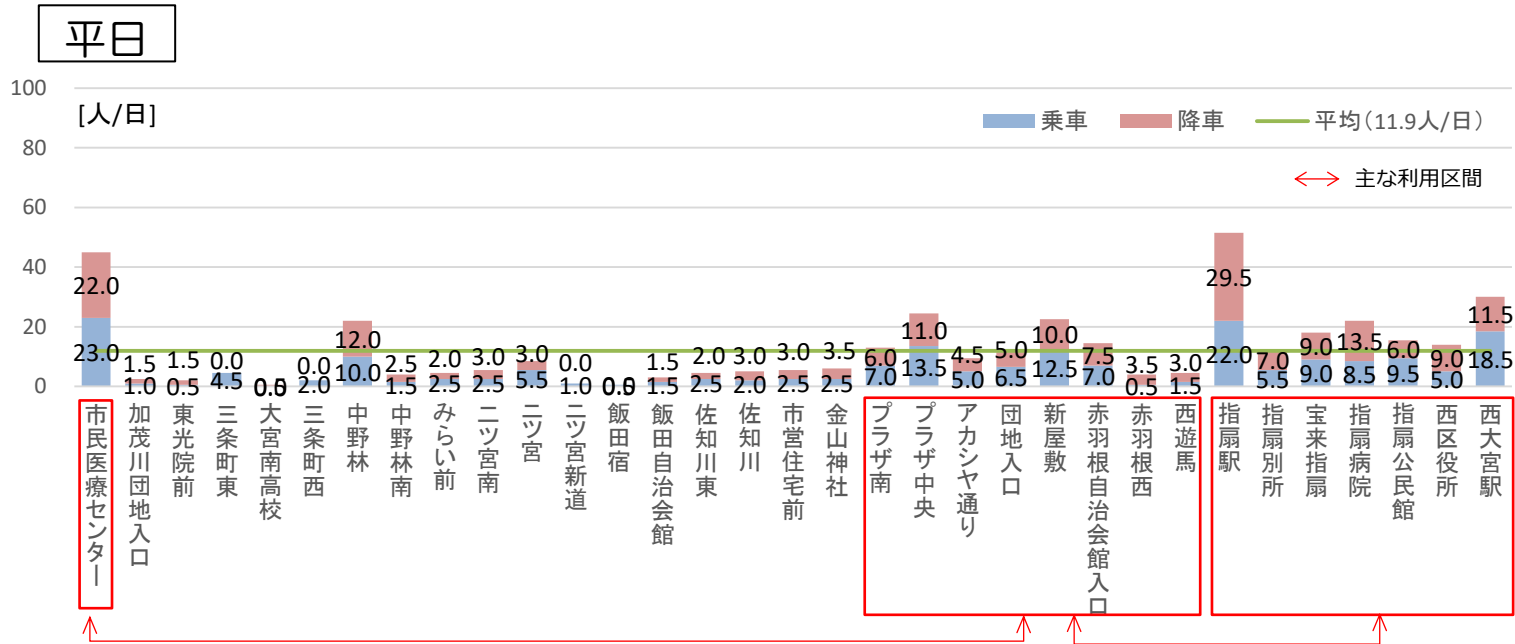
＊ただし、限られた日数による調査であったことから、慎重に扱うこととしたい。

コミュニティバス乗降・ヒアリング調査結果について【休日の調査結果】

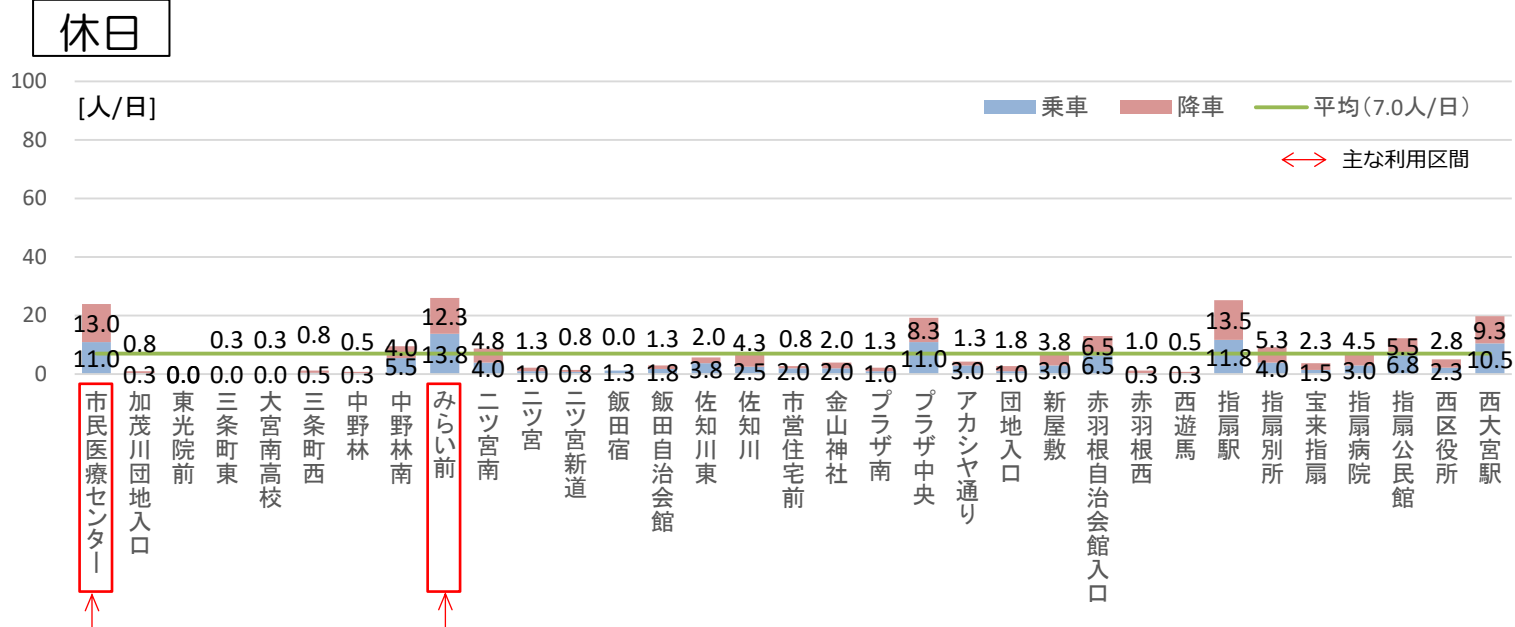
西区

- 1日当たりバス停別乗降者数は、平日・休日ともに、指扇駅、市民医療センター、西大宮駅、プラザ中央が上位5位以内に入る。
- 休日に上記以外で上位5位以内に入るバス停は、みらい前である。
- 休日の1日当たりの乗降者数（116人）は、平日の乗降者数（197人）より81人少ない。

平日：乗降調査結果（乗降者数合計197人/日） ※データ取得日：H30.11.6,8



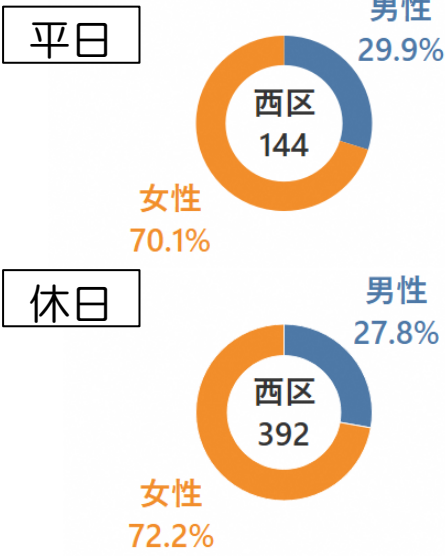
休日：乗降調査結果（乗降者数合計116人/日） ※データ取得日：H31.1.19,20,26,27



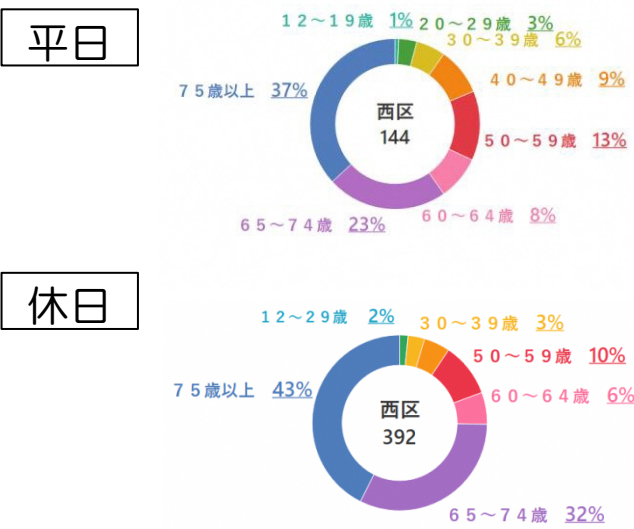
- 利用者の要望として、平日・休日ともに「本数・運行頻度の増加」が多く、その他に平日で「特になし」、休日で「休日運行」が多い。
- 利用目的として、平日では勤め先、指扇駅が多かったが、休日では自宅、マルエツが多くなった。

ヒアリング調査結果

性別



年代



コミュニティバスに関する利用者の要望

平日	(n=144)	
上位	要望	回答数
1	本数増加	19.4%
2	特になし	10.4%
3	土曜運行	4.2%

休日	(n=392)	
上位	要望	回答数
1	休日の運行	42.3%
2	運行頻度の増加	39.0%
3	その他	20.9%

コミュニティバスの利用目的

平日	(n=144)	
上位	目的	回答数
1	勤め先	20.8%
2	指扇駅	19.4%
3	市民医療センター	18.8%
4	西大宮駅	14.6%
5	指扇病院	13.2%

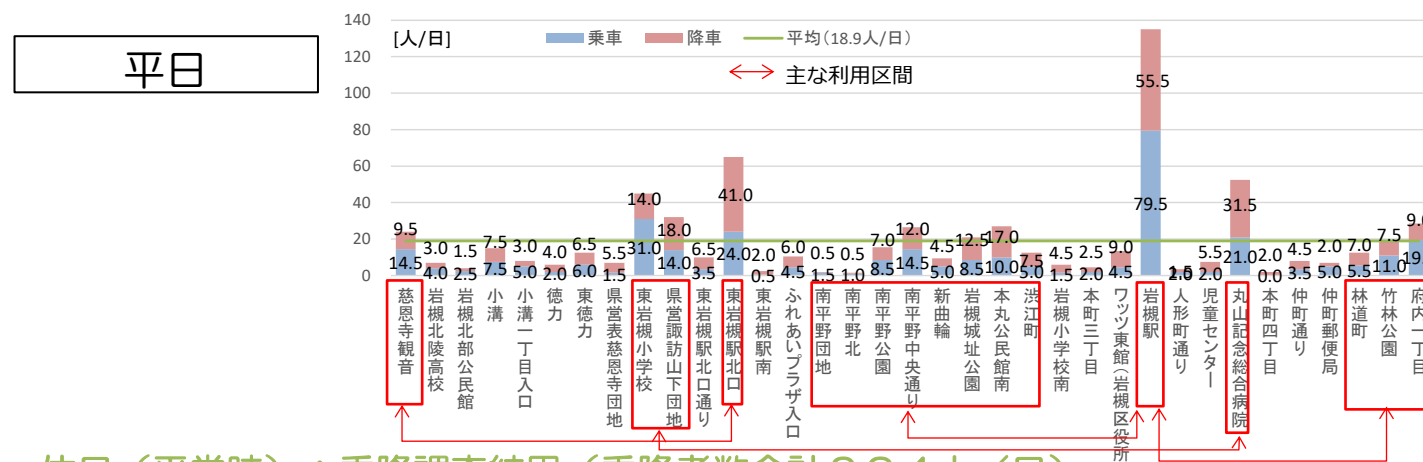
休日	(n=392)	
上位	目的	回答数
1	自宅	39%
2	マルエツ	8%
3	市民医療センター	7%
4	親戚・知人の家	6%
4	商業施設・商店街	6%

コミュニティバス乗降・ヒアリング調査結果について【休日の調査結果】

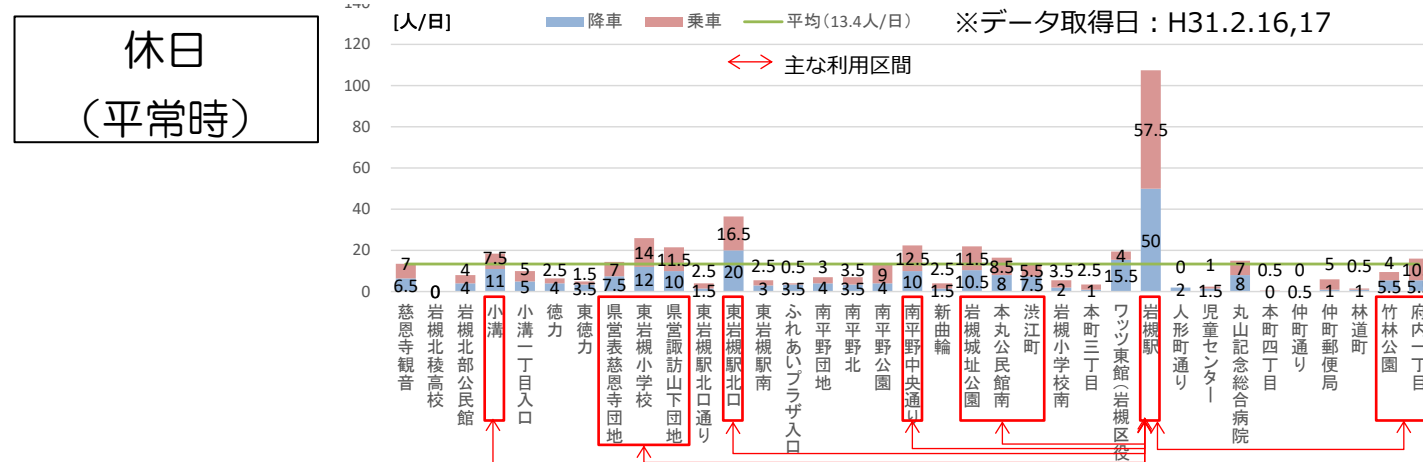
岩槻区

- 1日当たりバス停別乗降者数は、平日・休日ともに、岩槻駅、東岩槻駅北口、東岩槻小学校が上位5位以内に入る。
- 休日に上記以外で上位5位以内に入るバス停は、岩槻城址公園、休日（平常時）で南平野中央通り、休日（イベント時）で小溝である。
- 休日（イベント時）の1日当たりの乗降者数（264人）は、休日（平常時）（234人）と比較して、30人多いが、平日と比較すると68人少ない。

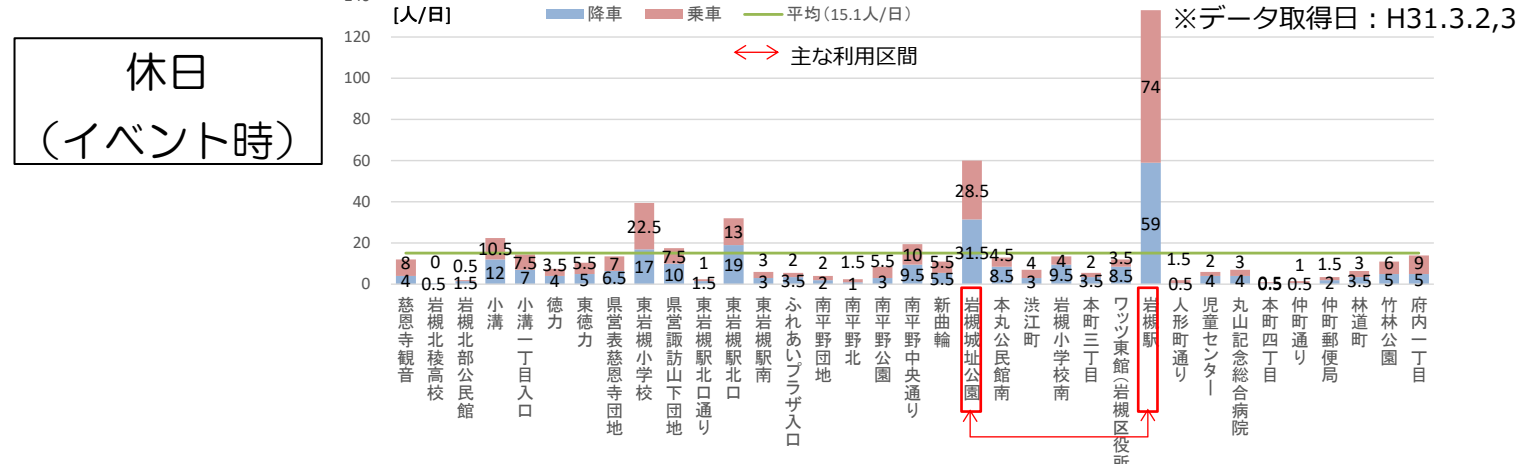
平日：乗降調査結果（乗降者数合計332人／日）※データ取得日：H30.11.6,8



休日（平常時）：乗降調査結果（乗降者数合計234人／日）※データ取得日：H31.2.16,17



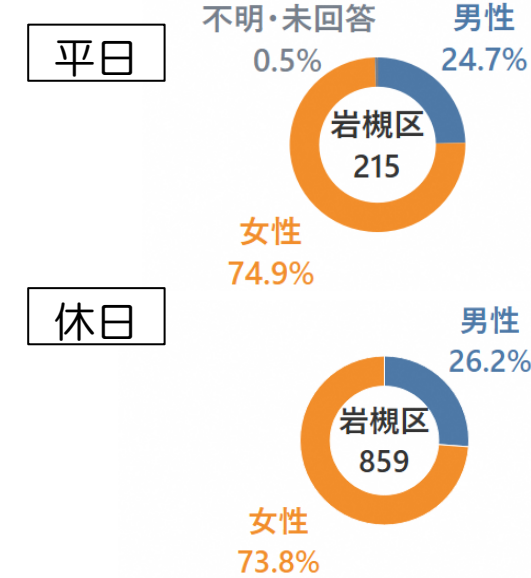
休日（イベント時）：乗降調査結果（乗降者数合計264人／日）※データ取得日：H31.3.2,3



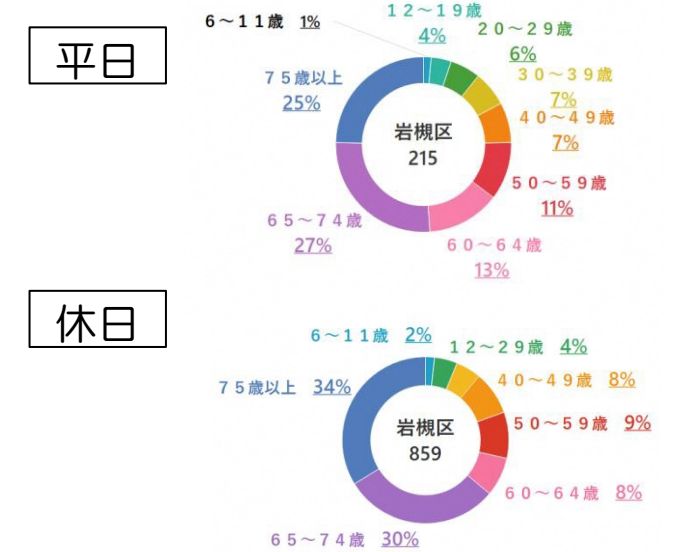
- 利用者の要望として、平日・休日ともに「休日運行」、「本数・運行頻度の増加」が多い。
- 利用目的として、平日では岩槻駅、丸山記念総合病院が多かったが、休日では自宅、商業施設・商店街が多くなった。

ヒアリング調査結果

性別



年代



コミュニティバスに関する利用者の要望

平日	(n=215)		
上位	要望	回答数	
1	本数増加	19.5%	
2	特になし	17.7%	
3	土曜運行	16.3%	

休日	(n=859)		
上位	要望	回答数	
1	休日の運行	73.6%	
2	運行頻度の増加	23.3%	
3	その他	9.0%	

コミュニティバスの利用目的

平日	(n=215)		
上位	目的	回答数	
1	岩槻駅	28.8%	
2	丸山記念総合病院	18.6%	
3	勤め先	15.3%	
4	東岩槻駅	9.3%	
5	商業施設・商店街	5.6%	

休日	(n=859)		
上位	目的	回答数	
1	自宅	40%	
2	商業施設・商店街	15%	
3	岩槻駅	11%	
4	その他	8%	
5	公共施設	5%	

コミュニティバス乗降・ヒアリング調査結果について

休日運行のまとめ

西区

- 休日の1日当たりの乗降者数は、平日の乗降者数の6割である。
- 特に、休日に利用が少ないバス停は、市民医療センター、指扇駅、指扇病院で、平日の半分程度の利用者数である。
 - 休日は通勤・通院目的の利用が少ないためと考えられる。
- 一方、みらい前については休日の利用者数の方が多く、プラザ中央、赤羽自治会館入口、指扇公民館の休日の利用者数は、平日と同程度である。
 - みらい前から市民医療センターへの利用が多かった。また、プラザ中央の周辺には、スーパーが立地していることから、休日でも一定の利用が見込まれる。

岩槻区

- 休日の1日当たりの乗降者数は、平日と比較して、平常時で7割、イベント時で8割である。
- 特に、休日に利用が少ないバス停は丸山記念総合病院、東岩槻駅北口で、平日における1日当たりバス停別乗降者数を大きく下回る。
 - 休日は通勤・通院目的の利用が少ないためと考えられる。
- 利用区間ごとにみると、人形町通りから府内一丁目までの区間で、平日に比べて利用が少ない。
- 休日（イベント時）の1日当たりの乗降者数は、休日（平常時）と比較して30人多いものの、平日と比較して68人少ない。
 - イベント時は岩槻駅と岩槻城址公園間の利用が最も多い状況があるため、目的地を限定した運行も考えられる。